



ご存知ですか ごみにかかった経費

現在、土浦区域のごみは市清掃センターで、新治区域のごみはかすみがうら市にある新治地方広域事務組合環境クリーンセンターで処理しています。

ごみの処理には、たくさんの経費がかかり、その大部分は税金でまかなわれています。平成19年度にかかった経費は、約20億円でした。一人ひとりがごみ削減を心掛け、一人1日たまご1個分(60g)を減らすことができたなら、年間に約1億円の経費を削減できる計算になります(19年度ごみ量全体6万2259t)。ごみが減れば、その分の経費を別の事業に使うことができます。

問 環境衛生課 (☎826-1111 内線2492)

平成19年度のごみ処理にかかった経費を、市民1人あたりにすると、家庭から出るごみが年間約1万円、事業所からのごみを合わせると約1万3900円の経費がかかっています。

◎1年間にかかった、1人あたり・1世帯あたりのごみ処理経費

区分	1人あたり	1世帯あたり
家庭から出るごみ	約1万円	約2万6100円
全体(家庭+事業所)	約1万3900円	約3万6400円

(平成19年10月1日現在の人口と世帯数=14万3909人、5万4910世帯)

昨年より、2900万円減りました

ごみ処理経費

19億9900万円

その他の経費
2億8000万円
人件費・報償費・委託金などです。
〔子ども会廃品回収奨励金や不法投棄のごみ処理費なども含まれます〕

収集運搬費
4億4000万円
土浦区域の家庭から出るごみの収集運搬費です。

減価償却費
5億4200万円
清掃センターと最終処分場の建設費用の1年分の減価償却額です。

焼却・破砕処理費
7億3700万円
清掃センターの運営費と新治地方広域事務組合分担金(環境クリーンセンターの運営費など)です。

資源のリサイクルにご協力をお願いします

◎ペットボトル

- ①キャップとラベルをはずして
- ②中をきれいに洗って
- ③つぶして出してください。

★透明か半透明の大きめの袋に入れてください。(燃やせるごみや燃やせないごみの指定袋に入れると、資源にならないことがあります。)

★緑色のネットの入れ物がある集積所は、袋に入れないで直接入れ物に入れてください。

◎ビン・カン

- ①ふたなどをはずして中をきれいに洗って
- ②ビンは色別のごごに、カンは空き缶専用のごごに入れてください。



★茶わん・湯のみなどの瀬戸物、ガラス類は燃やせないごみで出してください。

※新治区域のビンは、緑色の分類がありません。また、カンは不燃ごみと同じかごに入れてください。